

様式第2号（第3条、第6条、第7条及び第8条関係）

事業計画書（実績書）

2025年 11月 28日

団体名 NPO法人北近畿みらい

事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）	がん予防、早期発見、早期治療の最先端のお話を伺い、市民に勇気と希望を与える。市民のがんに対する意識の向上や、知識を高める機会とする。
事業の名称	垣添忠生氏講演会「がんと向き合う」
事業費 （市補助金）	414,105円 （ 185,000円 ）
補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）	講演者の旅費・謝礼 広報（チラシ作成費）、新聞広告 諸費（花、文房具など） 会場費
事業実施期日	2025年 11月 23日（日・祝）
事業実施場所	中丹文化会館
事業の概要 （事業の実施方法、内容について記入してください。）	垣添忠生先生（日本対がん協会会長・国立がんセンター名誉総長）は、がんの予防・早期発見・早期治療でがんは決して怖い病気ではないことを長い間訴えてこられた。講演会ではがんという病気の成り立ちや予防などについて、わかりやすくお話しいただいた。さらに、ご自身もがんの経験者であり、伴侶をがんで亡くされた先生が、東日本大震災の被災地をはじめ日本各地を歩き、多くの被災者やがん経験者との出会いを通して、歩くことで様々な想念が呼び起こされ、わずかでも希望があれば人は立ち直り、前向きに生きることができるという思いに至ったことを語られた。講演終了後には多くの質問にも答えていただき、活発な討論が行われた。 一般市民の他、医療関係者、福祉関係者にも呼び掛け、およそ250名の参加があった。
補助金の効果（成果） （計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。）	国民の二人に一人ががんに罹患する今日、がんは決して他人ごとではない。かつてがんは「死の病」と呼ばれていたが、垣添先生の講演を聞いて勇気づけられ、たとえがんを患っても希望をもって過ごしていけることを学ぶことができた。一般市民のみならず医療関係者や福祉関係者にも聞いていただき、健康のあふれる街づくりの一助になった。

第4号（第3条、第7条及び第8条関係）

収支予算書（計算書）

2025 年 11 月 28 日

団体名 NPO 法人北近畿みらい

(単位 円)

収入の部	区 分	予算額	収入済額	明 細
	市補助金	185,000	185,000	
	綾部市立病院補助金	150,000	150,000	
	自己負担金	79,105	79,105	
	合 計	414,105	414,105	
支出の部	区 分	予算額	支出済額	明 細
	旅費	100,000	100,000	(うち対象 <u>71,100</u>)
	謝礼	150,000	150,000	(うち対象 <u>60,000</u>)
	印刷費	16,500	16,500	
	諸費	3,670	3,670	(文具・花等)
	会場費	97,570	97,570	
	新聞広告	30,096	30,096	
	【対象外経費】			
	宿泊	15,200	15,200	
	スタッフ旅費・謝礼	0	0	
	飲食費	1,069	1,069	
	合 計	414,105	414,105	(うち対象経費 278,936)
差	引	0	0	